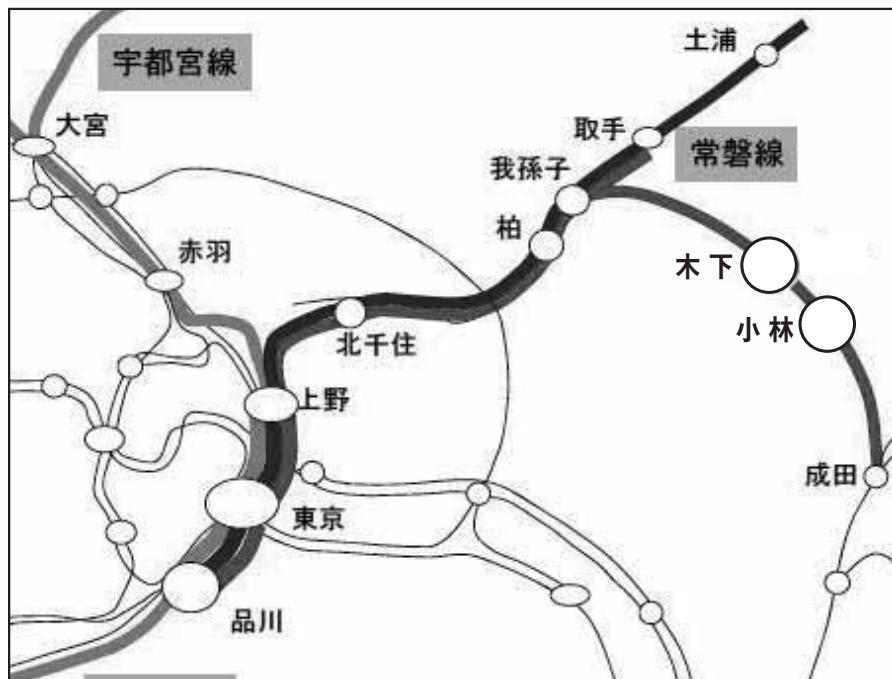


## 上野東京ライン運行体系イメージ



## ○直通運転する列車の時刻表○

成田発→品川直通(上り)

種別	成田発	小林発	木下発	上野着	東京着	新橋着	品川着
快速	6:31 7:00	6:48 7:19	6:54 7:25	7:55 8:25	8:02 8:32	8:06 8:36	8:12 8:42

品川発→成田直通(下り)

種別	品川発	新橋発	東京発	上野発	木下着	小林着	成田着
快速	16:47 17:46 18:26	16:53 17:53 18:33	16:57 17:57 18:37	17:04 18:03 18:43	18:04 19:00 19:52	18:10 19:05 19:57	18:31 19:27 20:17

子どもたちに、政治選挙への関心を持つてもらおうと、毎年行っている「明るい選挙書き初め」(印西市選挙管理委員会・印西市明るい選挙推進協議会主催)の入賞者が決定しました。各小中学校から1,454点(小学生の部1,116点、中学生の部338点)もの応募があり、厳正な審査の結果、金賞9点、銀賞18点、銅賞27点が選ばれました。

金賞を受賞したみなさんは、次のとおりです(敬称略)。

【小学生の部】▼岡田実果(本塙第二小1年)▼間立栄生(原山小2年)▼佐藤大河(滝野小3年)▼川森真衣(本塙第二小4年)▼佐藤美和(大森小5年)

市では、これまでJR成田線の利便性向上について、沿線自治体で構成する「成田線活性化推進協議会」を通じてJR東日本に対し要望してまいりました。この結果、3月14日のダイヤ改正により、朝の通勤時間帯に成田発の「品川」直通便が2本、帰宅時間帯に「品川」発の「成田」直通便が3本運行されることとなり、成田→品川間が乗り換えなしで利用できるようになります。

今後とも、成田線利用者の利便性向上を図るために、通勤時間帯の増便、最終電車の延伸など、沿線自治体とともに、JR東日本に対しても要望してまいります。木下駅で開業記念式典として、木下駅にて開業式典を行います。

時 3月14日(土)・午前6時20分~。  
※成田発、午前6時31分品川行き  
快速電車、木下駅到着25分前から30分間。  
場木下駅自由通路。  
内くす玉割のセレモニーなど。  
企画政策課交通政策室(内線475・476)。

成田線の利便性が向上  
品川駅まで直通運転

## 上野東京ライン開業

3月14日ダイヤ改正

みんなの温かい善意に感謝  
平成26年中にいただいた寄付

市では、平成26年の一年間に次のみなさんから寄付をいただきました。

これらの寄付は、みんなの意向に沿ったかたちで、まづく

意図に活用していきます。

## 【寄付金】

はんこ村印西木下店代表近能善弘、川崎英世、印西市舞踊連盟。

(順不同・敬称略)

はんこ村印西木下店代表近能善弘、川崎英世、印西市舞踊連盟。

学童クラブ保護者会、原第2学童クラブ保護者会、西の原保育園卒園児保護者会、大森保育園卒園児保護者会、大森保育園父母の会、高花保育園卒園対策委員会、日本医科大学看護専門学校、角田桐花(若秋)、佐藤政男(小林大門下)。

企画政策課交通政策室(内線453)。

HPホームページ

メールアドレス

その他

携帯電話

## 自主防災組織リーダー研修会を開催

去る2月8日、ふれあいセンターで、自主防災組織の代表者を対象に、災害時における自

主防災組織の役割と共に助の重要性を学ぶ研修会を開催しました。

研修は、まちかど防災「減災塾」塾長の水島重光氏を講師に迎え、

避難時に迷わず行動できるよう

クシヨップを実施。避難所や医療施設、一人暮らしの高齢者や小

さなお子さんいる家庭などを

避難所周辺の地図を使つたワ

ーイン

地図にマークし、災害時を想定し

て助け合いながらどのように避

難ができるかを確認すると共に、

自主防災リーダーとしての役割

を学びました。

研修に参加した男性は「近隣の

消防課防災班(内線453)。



印西市を応援していただけ  
ありがとうございます。

「明るい選挙書き初め」  
入賞者決定

## 文化財防火訓練を実施

教育委員会では、貴重な文化財を火災などの災害から守るために、毎年1月26日の文化財防火デーに併せて文化財防災訓練を実施しています。

今年度は、1月18日に国指定重要文化財「銅造不動明王立像」が安置される結縁寺で、消防署や消防団、地域住民などが連携し、通報訓練、搬出訓練、初期消火訓練、放水訓練を行いました。

訓練は境内の枯れ草から出火し、延焼の恐れがあると想定。町内会長が119番通報し、地域住民が消火器で初期消火をすると、通報により地元消防団と印西西消防署が出動し、延焼を防ぐ放水を行いました。

訓練に参加した檀家総代の中里建屋に向けて行なわれた放水訓練

さんは「訓練を行うことで、もしもの時の対応が違ってくる。今後も貴重な文化財を守りたい」と気を引き締めました。



白図に避難ルートを書き込む図上訓練

